

クラウドファンディングの活用について

令和3年10月

1. 目的

本市では、「第八次栗東市行政改革大綱」（令和2年3月策定）において、厳しい財政状況が続く中、持続可能な行政運営を行うための行政改革の取り組みの一つとして、「財源確保」の視点から、健全な財政運営ができるよう、あらゆる手段を講じながら安定的な歳入の確保を目指すこととしています。

このことから、自主財源の確保策の一つとして、令和3年度からクラウドファンディングの手法を活用しています。

2. クラウドファンディングとは

クラウドファンディングとは、課題解決のため、特定のプロジェクトを実施するために、主としてインターネットを通じて資金調達する仕組みであり、団体や事業者だけでなく、近年、自治体でも「クラウドファンディング型ふるさと納税」「ガバメントクラウドファンディング」として活用する事例が増えてきています。

クラウドファンディングの活用を通じて、本市が取り組む具体のプロジェクトの内容や成果を市内外の多くの方にうまくPRすることで、本市の魅力を発信するだけでなく、プロジェクトの趣旨に共感・賛同してくださる方や本市を応援してくださる方の輪が広がるといった効果が期待できます。

※ 自治体が取り組むクラウドファンディングはふるさと納税の仕組みを活用していることから、個人からの寄附については、ふるさと納税同様に税控除が適用されます。

《ふるさと納税とクラウドファンディングの違い》

	ふるさと納税	クラウドファンディング
募集単位及び期間	年間通じて全体を募集する 場合が多い	プロジェクトごとに始期及び 期間（3か月程度）を定めて 実施
目標金額	示さない場合が多い	プロジェクトごとに明確にす る必要あり
寄附金の使途	市によってさまざま（事業 名・分野のみなど）	プロジェクトごとに明確にす る必要あり

《活用事例（R3年度栗東市）》

くりちゃんのレインコート・長靴作成プロジェクト

募集期間：令和3年6月1日～12月31日（6月25日に目標金額達成）

目標金額：202,000円

寄付総額：230,000円（13名）

◀県内での活用事例▶

草津市：たび丸着ぐるみの新調（H28）

市民活動団体によるクラウドファンディングの活用推進・サポート（H30～）

滋賀県：学習船「うみのこ」の新調（H28）、キャプチャー着ぐるみの新調（R1）

3. 運用の考え方

「栗東市クラウドファンディング活用指針」を策定し、これに基づく運用を行います。

(1) 基本的な運用

活用にあたっての仕組みづくりをふるさと納税主管課（市民政策部 元気創造政策課）にて行い、プロジェクト（事業）主管課が実際に活用するものとします。

(2) 寄附の募集方法

既に取り組んでいる「ふるさととりっとう応援寄附（ふるさと納税）」同様に、本市ホームページ及び委託事業者によるポータルサイトにおいて寄附を募集します。

(3) 調達方法

ALL IN 方式（寄附額が目標額に達しない場合でも、プロジェクトを実施）とします。

(4) 返礼品の取り扱い

プロジェクトの趣旨を踏まえ、必要な場合のみ返礼品を提供するものとします。
※ 返礼品を提供する場合は、プロジェクト内容に沿ったもの（例：イベントの場合、当該イベントへの招待券など）が好ましいと考えられますが、地場製品の振興及び市内経済の活性化の観点から、現在のふるさと納税と同じ返礼品を提供することも可能です。